

分子生物学科・環境科学研究センター共催セミナー

大学院の集中講義で来学される東京大学上田貴志先生にセミナーをお願いしました。

膜交通経路はいかに多様化したか “Lessons from Plants”

真核生物の細胞には多様な細胞小器官が存在し、それらの間では盛んに物質のやりとりがおこなわれています。なかでも単膜系の細胞小器官の間の物質輸送は、「膜交通」と呼ばれる仕組みが担っていることが知られています。膜交通はすべての真核生物が有する基本的な仕組みですが、一方で真核生物のそれぞれの系統では、生活環や体制の違いに応じた膜交通経路の多様化が見られます。我々は、この膜交通の多様化の仕組みを、植物を使って明らかにするべく研究を行っています。本セミナーでは、我々の最新の研究成果をご紹介します。

東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻（理学部生物学科）

准教授 上田貴志

日時：平成24年 9月28日（金） 14：40～16：10

場所：理学部 3号館 11 番教室

問い合わせ先：大西 純一（分子生物学科 ext. 4312）